

第 12 回 京葉地区低学年大会 開催のご案内

2024 年 2 月 11 日(日)

京葉地区低学年大会

大会実行委員会

【大会概要】

- 名称： 第 12 回京葉地区低学年大会
- 主催： 京葉地区低学年大会 大会実行委員会
- チーム数： **最大 32 チーム**
(東部・下鎌田・篠崎・鹿本・一之江・小岩・小松川・松江・葛西)
- 大会期間： 3/16(土)～6/25(日)
 - * 1,2 回戦: 3/16(土)～5/11(土)までに対戦相手とグラウンド確保で試合実施 (当該審判)
 - * 1 回戦は 4/20(土)を目安に試合実施する。
 - * 3 回戦: 5/12(日)～6/8(土)までに 2 回戦勝ち上がりチーム同士でグラウンド確保し試合実施(当該審判)
 - * 4 回戦以降: 6/9(日)～6/30(日) 水辺のスポーツガーデンにて試合を開催。(決勝以外は帯同審判お願いします。前後審判予定)
 - * 1,2 回戦敗者チームにて希望チームは 4 回戦開始時期から水辺にて交流戦を開催します。
- 開始式： 大会の開始式はありません。
- 表彰式： 決勝戦後 水辺のスポーツガーデン C 面
 - * 準決勝まで勝ち残った 上位 4 チームが対象
- 試合形式： 抽選によるトーナメント方式
 - 5 回戦, 80 分/試合 *コールドゲーム適応無し。ボークは注意のみ。
 - 投間 14m, 塁間 21m
 - * ルールは別途ホームページにご案内します。
- 出場資格： 支部所属チーム, 小学校新 4 年生以下 10 名以上
本大会運営に賛同できるチームの参加をお願いします。
支部(連盟)内で承認された合同チームの参加を認める。
- 参加申込： 2/28(水)までに WEB にて登録済みを完了すること。
 - * 3/1(日)以降の遅延申込みは認めません。
- 参加費用： 2,000 円 *各連盟単位で集金します。(3/3 支払い締切)
- 組合せ抽選 3/10 代理抽選にて組み合わせ抽選を行います。
- 選手登録 連合チーム参加により事前選手登録の提出をお願いします。
ホームページ上から選手登録をダウンロードし大会事務局まで送付をお願いします。
- 試合球： ナガセケンコーボール J 号 (チームにて都度新品 2 球用意をお願いします。)

- 大会ホームページ (京葉地区低学年大会|Home)

https://e-baseball.tokyo/keiyobb_b/index.html



- 試合日程報告 両チームにて日程調整がございましたら、大会事務局 藤居およびブロック長まで下記のご連絡をお願いします。(大会事務局: syutokenedogawa@gmail.com)
報告内容： 試合番号, 試合日, 試合開始時間, グラウンド
- 試合結果報告 試合結果は両チームから大会事務局 藤居およびブロック長までご連絡ください。
報告内容： 試合番号, スコア, 勝利チーム *写メでスコアボード撮影いただき添付いただけると助かります。

【お問い合わせ先】

大会事務局 藤居 賢 : 携帯 080-5542-0544, メール syutokenedogawa@gmail.com

大会実施要項

2023年3月2日制定

【大会規約】

- ・試合時間 80 分の 5 回戦とし 80 分を過ぎた場合は新しいイニングには入らない。
- ・攻守交代の条件は、3 アウトまたは 1 イニングで 7 点得点時。
- ・同点の場合は、抽選により勝利チームを決める。

抽選方式：最終回に出場していた各選手 9 名にて、交互に○×各 9 枚用意した紙(折り畳み)を引き、○が多いチームが勝利とする。(抽選紙は選手が開けず、監督が回収しすべての選手が引き終わった後に開封し確認をお願いします。)

- ・投手のボークについては、選手に注意と指導を行う。
- ・大会本部や球審が定める試合開始に選手が揃わない場合は不戦敗とする。
- ・同一投手の投球数を制限する。60 球/試合
- ・投手から野手への守備交代後の投手への再登板はありとする。
但し、球数については投手降板時の最終投球から追加球数とし 60 球を上限とする。
- ・ランナーコーチは選手のみ。
- ・タイムの制限については、攻撃時と守備時に各 3 度以内とする。
- ・監督が不在の時は、コーチを監督代行として認める、メンバー表提出時にその旨を球審伝えること。
- ・用具については、打者、走者、次打者は両側にイヤードフラップの付いたヘルメットを着用する。(ベースコーチもヘルメット着用) 捕手は、レガース、プロテクターを必ず着用する事。サブキャッチャーの準備をお願いします。
- ・プレーに関しての危険な行為に対しては審判員が厳重に注意する。
- ・対戦相手のチームに対してのヤジや個人攻撃は謹む事。(応援も同様です)
- ・2 名の帯同審判のご協力をお願いします。(審判服着用)。当該試合の審判となります。球審は対戦チームと協議し決めて下さい。* 決勝戦の試合は大会本部が依頼した審判が担当する。
- ・ベンチ入りできる大人は、チーム代表者、監督、コーチ(2 名)、スコアラー、父母引率者、及び選手の世話係 2 名とし、合計 8 名までとする。ユニホーム着用の監督・コーチは 3 名以内とする(選手世話係以外はチーム帽子着用)
- ・試合前のキャッチボールはベンチ側外野で試合開始 10 分前までとする。(内野グラウンドを使ったノックやシートノックは不可)
- ・ユニホームはチーム統一(合同チームは各チームユニフォーム可)とし、必ず背番号を着用すること。(スパイクは強制ではありません)
- ・試合ベンチは若い番号が 1 塁側とする。(先攻・後攻は試合前にジャンケンで決定する)
- ・試合終了後は速やかにベンチを空けて、次試合チームにベンチを提供すること

【時間制限の解釈】

5 回戦 80 分/試合

例①

	1	2	3	4	5			
A チーム	1	0	0	0				
B チーム	0	0	0	0				

4 回裏終了時で 80 分を過ぎたら新しい回に入らない。4 回で終了する。

例②

	1	2	3	4	5			
A チーム	0	0	0	0				
B チーム	1	0	0	X				

4 回表終了時で 80 分を過ぎた場合は、後攻チームが勝っているため 4 回裏には入らず後攻チームの勝ちとする。

例③

	1	2	3	4	5			
A チーム	1	0	0	0				
B チーム	0	0	0	※				

4 回裏攻撃中に 2 点以上得点し 80 分を過ぎた場合は試合終了となり裏攻撃チームの勝ちとなる。
また、4 回裏攻撃中 80 分を過ぎた後逆転した場合は、裏攻撃チームのサヨナラ勝ちとなる。

例④

	1	2	3	4	5			
A チーム	7	1	0	0				
B チーム	0	0	0	※				

8 点差以上で 4 回表の攻撃中に 80 分を過ぎた場合、裏の攻撃に入らず試合終了とする